

開催にあたって

埼玉県立文書館では、平成25年度に『埼玉県史料叢書12 中世新出重要史料Ⅱ』を刊行しました。

この刊行に関連して、当館が収蔵する様々な中世文書のうち、県外が拠点のため、これまで展示の機会がなかった越後上杉氏や毛利氏といった戦国武将の文書を展示します。また、武蔵国一宮氷川神社の社家である西角井家文書の一部をなす諸国寺社朱印状の中にも各地の中世文書が含まれており、今回その一部を紹介します。本展示が、中世文書の伝来過程を理解する一助となれば幸いです。

なお、平成26年度には明治8(1875)年7月から同11年12月までに、埼玉県が管内に発した布達を収録した『埼玉県史料叢書17 埼玉県布達集一』を刊行します。そこで、同時期に熊谷県権令・県令であった楫取素彦関係の資料をあわせてスポット展示で紹介いたします。

平成27年3月

埼玉県立文書館

I 収集文書の世界



寛元4・12.25 六波羅御教書(小室家5696)

明治初期の好古家ネットワークの中核を担っていた一人が比企郡番匠村(現・ときがわ町)の蘭方医小室元長です。当館所蔵の小室家文書には、東寺百合文書の一部であると思われる寛元4年(1246)の文書をはじめ、小室氏が収集した中世文書が存在しています。この他、本コーナーでは、他家で収集された中世文書についても、これまで公開することのなかった年未詳豊臣秀吉書状などその一部を紹介いたします。

II 上杉家家中 島津家文書の世界



天正10・7・19 上杉景勝過書 島津家文書8

出羽国米沢藩(現・山形県)家中、島津家の文書です。島津家中世文書は17点あり、そのほとんどは上杉景勝が北信濃に進出した天正10・11年(1582・83)に集中し、景勝朱印状や直江兼続らの書状がみられます。



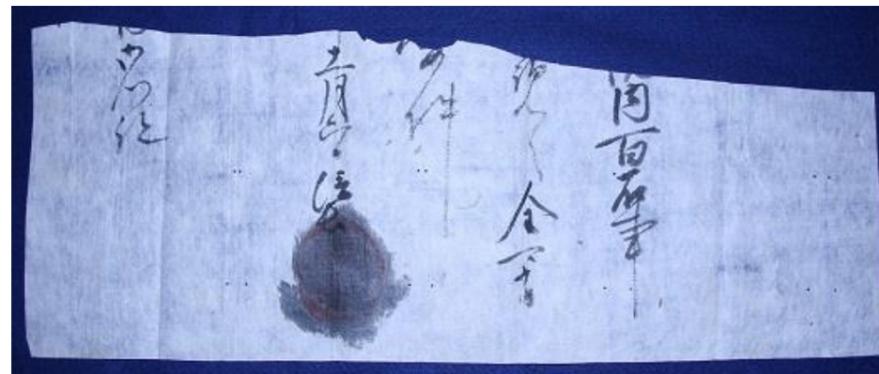
III 毛利家家中 井原家文書の世界



天正10.6.9 小早川隆景・吉川元春・毛利輝元連署起請文(那智滝宝印)(井原家文書85-3)

長門国萩藩(現・山口県)家中、井原家の文書です。井原氏は安芸国高田郡井原村(現・広島市)出身の在地豪族で、戦国時代には毛利氏に仕えました。中世文書は戦国時代のもので、原文書は13点あります。これらは初代元歳が備前国の伊賀氏の娘を妻とした関係で当家にもたらされたものです。また、天正9~12年(1581~84)にかけて、毛利輝元、小早川隆景、吉川元春等の書状や起請文などがまとめられているほか、天正15年(1587)の九州平定に関わる豊臣秀吉朱印状があります。

IV 西角井家「諸国朱印状」の世界



【天正3】11.6 織田信長朱印状 (西角井家文書4999)

西角井家は、武蔵国一宮・旧官幣大社であるさいたま市大宮区高鼻の氷川神社旧神主家です。中世文書はすべて諸国朱印状の中に含まれており、そのほとんどが徳川権力を否定するかのよう料紙中央で天地に切断され、朱印あるいは花押の部分が墨で消されています。当館収蔵後、可能な限り復元を行いました。

